

温

おん

(思いやりのある子)

強

ごう

(がんばり抜く子)

活

かつ

(進んで学ぶ子)

山口市立小郡小学校
2019 年度 校長室だより

第 18 号

〈R. 元. 10.9〉

「逆上がり大作戦」始めました

10月は、鉄棒の逆上りを頑張る月間にします。2日の全校朝会で、逆上がりについての私の思い出を話し、補助用具の説明をして、休み時間に挑戦するように促しました。

○ なぜ逆上がりか？

鉄棒は、できる、できないがはっきりするので、できた時の喜びや達成感が大きいです。文部科学省が定めている小学校の学習指導要領でも、3年生以上で逆上がりに取り組むことになっています。(1・2年生は、まだ、鉄棒に親しむ段階ですが、既に逆上がりができる子どもも大勢います。身軽なうちの方ができやすいこともあります。)

子どもによってはかなり練習を積まなければできませんが、それがちょうど良い抵抗感だとも言えます。できないことを恥ずかしがったり隠したりするのでなく、一生懸命挑戦して、できるようになることで、自己肯定感が高まり、自信がつくと考えています。

○ 練習方法

主に休み時間にチャレンジさせます。逆上がり練習器 → タイヤ2段 → タイヤ1段 → 補助用具なし と段階を踏みながら練習していくことで、無理なくできるようにサポートします。



○ もうすでにできる子は、何をしたらよいか？

見本を示したり、手伝ったり、アドバイスを送ったりしてほしいのです。友達を応援して、友達ができるようになったことを共に喜び合う体験を是非してほしいと思っています。「人の喜ぶ姿を見て自分もうれしくなる。」という感覚や、「人の役に立つ幸せ」を感じてほしいものです。

※ 私の思い出とは・・・

小学生の時は、鉄棒が苦手できらい。逆上がりもできませんでした。そのまま鉄棒から逃げていたので、中学、高校、大学とずっとできないままでした。でも、大学生の時に、友達にできないことを打ち明けて一緒に練習してもらおうと、ずっとできました。逃げていたら自然にできるようにはならないこと、挑戦することの良さ、友達の応援のありがたさを知りました。

※ 保護者の皆さんへ

子どもたちに逆上がりができるのか、聞いてみてください。できないようなら、挑戦するように励ましてください。そして、もし、できるようになった時には、鉄棒のところに行って見てやり、一緒に喜んでください。1つのことがきっかけになって、いろんなことに対して、自信をもってできるようになるのだと思います。